

小学生ご当地  
料理コンテスト

# 越の丸ナス 料理で応募

糸魚川市立下早川小の5年生8人は地元産の越の丸ナスを使った料理で「小学生ご当地料理コンテスト」に応募し、関澤央さんが優秀賞に、渡辺まどかさんが入賞に輝いた。このほど同校で表彰式が行われた。

小川早下  
5年生

## 関澤央さんが優秀賞

## 渡辺まどかさん入賞

同コンテストは、日本製粉社が子どもたちへの愛着が育つように募集し、今年で3回目。同校5年生は総合的な学習で地元・早川の食を勉強しており、丸ナスのおいしさを多くの人に伝えたいという思いを込め、8人全員がオリジナルの料理を作り、コンテストに応募した。



優秀賞

優秀賞を受賞した関澤央さんの「まるごと丸ナスポタージュ」(下早川小提供)



入賞

入賞した渡辺まどかさんの「丸ナスまるごとバーガー」(同)

優秀賞の関澤さん(中央)、入賞の渡辺さん(右隣)ら8人全員が1次審査を突破。生産者の加藤さん(左から2人目)も喜びの表情



「丸ナスまるごとバーガー」を考案した。関澤さんは「丸ナスを器に使い、ナスをミキサーで混ぜてポタージュにしました。入賞は期待してなかったのだけれどうれしいです」と話した。

5年生の丸ナス作り見学を受け入れたのは同市越の加藤富美子さん。「一生懸命触って、大きさにびっくりしていた」と見学時の様子を振り返り、「うれいす。私より長く作っている人もいます。みんな喜んでます」と喜びを話した。

コンテストは208件の応募があり、同校は受賞した2人を含む全員が1次審査を通過し、2次審査の24人に残った。町田庄司校長

は「子どもならではのアイデアで、楽しみながら真剣に取り組んでいた」と児童の姿勢を評価した。来年2月には生産者や販売業者らを招いて早川産野菜の発表会を予定している。